

## 平成24年度 第2回西成区区政会議議事録要旨

1 日 時 平成24年11月8日(木) 14:00～15:40

2 場 所 西成区役所 4階会議室(4-5・7)

3 内 容

【案件】( )内説明者、>発言要旨

>委員長：今日は、第6回目の区政会議になる。平成24年度に入って2回目。今日は、西成特区構想有識者座談会の鈴木顧問のほうでまとめていただいた資料を皆様に、送付されたかと思う。西成区特区構想で非常に課題の多い区であるが、報告書を読ませていただき、西成の課題はやっぱりあいりん地区であり、あいりん特区構想と感ずるところもあるわけだが、そういったところは鈴木顧問のほうから、西成区全体の課題ということで、取り組み、またご説明もいただけたらと思う。

これから私たちがそれを理解して、新区長を迎えて、新しい取り組み、どう具体化していくかということが課題ではないかと思う。区政会議の委員の皆さん方には、いろいろな分野で西成のことにご精通しておられるし、現実にご活動もしていただいている。そういったところで、鈴木顧問のご説明を聞いていただき、ご意見、感想等も含めて行っていただければ、またよりよいところへ進むのではないかと思う。

それでは、特区構想有識者座談会の報告についてということで、鈴木顧問のほうから三、四十分ご報告いただき、その後で皆さん方の意見をいただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

(1) 西成特区構想 有識者座談会の報告について(鈴木特別顧問)

>鈴木特別顧問：まず、1番の短期集中的に行うべき対策、あいりん地域を中心とした諸課題というところで、路上生活者、高齢の日雇労働者、そして生活保護受給者が大変多いわけだが、どう対策をするかということが、大きな課題。これに関しては、若者で生活保護を受給するという人がふえているという全国的な問題よりも、むしろ高齢で、日雇労働者を経て、野宿生活者を経た方が多いという問題。

それに対し、あいりん地域の問題を解決する方向で活用できないかということで、例えば、特別清掃事業のメニュー拡大と書いているが、通学路の見守りに立っていただくとか、あるいは、ごみの不法投棄の見回りとか、それから、単身高齢の生活保護受給者が孤立化している、その見守りをしていただく、そういう環境問題などを解決する方向で活用できないかということが、一つの方向。

2番目に、あいりん地域はいろんな困難を抱えていた地域だからこそ、民間の支援団体、支援者というのが非常に活躍されてきたというような、非常に大きな資源がある。これをもっと活用をして、例えば、個別の支援者が別々に支援をするのではなく、トータルでコーディネートができるよう、ネットワークを整備できないか。また、きちんとケアや支援をしているということに対して費用補助をするような体制を格差なくつくる、逆に住宅扶助に関しては、ケアの質だとか、住宅の質を考慮して、少し住宅の扶助費を上げ下げすることによって、質の高い住宅を供給するというような動機がみつけれないかというようなことを制度化しようとしている。

また、この地域に2つシェルターがあるが、実際には日雇労働者よりも、余り日雇にも出られないようなご高齢の方もたくさん利用されているので、建てかえをして、アメニティーを向上させて、なおかつ居場所がちゃんと確保できるような、いろんな談話室とかそういうものを整備して、そこにいていただいたり、あるいは未利用地を活用して菜園みたいなものを整備して健康的な活動に時間をつくっていただくというようなことを考えている。

そして、医療問題・結核対策ということで、例えば、野宿生活の方々は、生活保護にかかればいろいろな治療が進むんですが、問題は、入院しないとその生活保護にかかれないもの。そこで、生活保護ではないけれど、生活費と住居を提供することによって、結核にかかった方が安心して治療に専念できるような、生活保護以外の制度としてつくる、あるいは、結核対策の医療セクションと、福祉セクションとのつながりを、全部ワンセットで結核対策と福祉を一緒に決定できるような、そういう体制をつくることで、さらに結核対策というのを前に進めるということ。

それから、今宮中学校の統合の問題で、特に通学路の安全確保という問題があるが、環境の問題、治安の問題は、特区として一体で取り組む、まず、公園のテントに関して、不安を持ってらっしゃる方もいらっしゃるの、何とか普通の公園機能が回復できないかということ。ただ、問題は、そこにいらっしゃる方々も、やはりそこには人権もあるし、

望んでやっているわけではないという部分があるので、ゆっくりと時間をかけて、彼らが望む方法で、別の安定的な生活、あるいは仕事を用意するという事で、平和的に解決をするということで、問題解決しようということを考えている。

こういう短期的な問題を解決したら、それで明るい未来がやってくるのかというと、そうではないということで、2番目の中長期的な対策というのが必要となる。

特に重要なことは何かというと、西成というのは、65歳以上の高齢の方が全体の3割ちょっとで、あいりん地域だと4割ぐらいだが、これが急速に高齢化することがわかっているという地域。なぜならば、子供が非常に少ない、子育て世代も非常に少ない。外に出ていく人のほうが、入ってくるよりも多いという状況があり、あくまでも予測だが2030年の高齢化率でいうと、西成全体で5割ぐらい。あいりん地域だと、65%以上ということになると思う。人口自体も急減し、あいりん地域が特に突出し、現在2万5,000人ぐらいの人口が、2030年、あと20年ぐらいで1万人を切ってしまう。

そうすると、人口構成で地域のコミュニティーの維持が難しくなるということはもちろん、それ以上に、この地域のご高齢者のかなりの割合は、生活保護をかかっている方がいらっしゃるの、現実問題として、この町に出回っているお金が急減するということが、もうほぼ明らかである。生活費だけじゃなくて、医療費、介護費というものも、同時に減ってしまう。やはり、この先を見据えて、子育て世代が入ってきて子供がふえるような維持もすべきであるし、経済としても、雇用を生み出すような産業をこの地域に誘致してきたり、つくっていくということが必要となる。

まずは、子育て世代、子育て施策ということで、一つは、子育て費用を安くすることによって、もう少しここに移ってきてもらえないかというようなことを、考えている。

当然、子育て世代の中には、いろいろ困難を抱えたご家庭もあるので、スクールソーシャルワーカーとか、子育て世代の支援というものも、同時に充実していく必要があるかと思う。

そして、将来を見据えてのもう一つ産業づくりということでは、やはり一つ方向性として観光業というのはあるのではないかと考えていて、ご存じのように、太子1丁目のあたりでは、随分バックパッカーとかビジネスマンとか、随分にぎわって泊まっておる。ただ、これは残念なことだが、観光はほかのところへ行ってしまいうということで、もっとそれをゾーニングをして、その中でいろいろ楽しめるようなエリアにしようということと、例えば、今まであったような屋台村ではなく、台湾やタイなどのナイトマーケットのような、

そういうものをつくる。そうすると、仕事生まれ、いろんな人が雇用してもらえし、そういう観光業としてこの地域が発展するような、中長期的な方向性としては考えられるのではないかとということで方向性を示させていただいている。

この2つをもとに、具体的にこれからプロジェクトとして動いていくという課題が3番目のところで、例えばどういうものがあるかということ、あいりん総合センターの建てかえという問題がある。

これは、耐震化を、補修するだけというのが今までの方針であったが、あれだけ大きな建物を、もう1回同じものを建て直す、あるいは補修して長生きさせるというのは、余りにもったいないということで、いろんな活用、観光、商業施設とかいろんなものを含めて活用できないかということ。

そして、未利用地が、北西部を中心に非常に多い。これも、もう少し戦略的に使えないかということを考えている。エリアマネジメント協議会というのをつくり、例えば、新今宮駅の再開発で、行政が天下りの、これに決まりましたのでよろしくというのは、もう問題外だということで、住民の方々と一緒に考えながら、その大型のプロジェクトを考えていこう、都市計画を考えていこうという方向性を打ち出している。

>委員：今回提案いただけてます包括支援センター、子供版包括支援センターの問題は、本当に子育て世代の人たちが相談に行く場所、行きやすい場所というのをつくるのが大事。ただ、できるだけ予算かけずにやれる方法というのを考えるべきなんではないか。

>委員：特別清掃の問題、野宿を余儀なくされている人々への仕事の種類をふやしたいということで、清掃とかリサイクルとか、そういうことが書かれている。そのことは、ごみの不法投棄の見守りをあいりん地区内だけで構想すれば、これはあいりん地区内だけに閉じこもった施策ということになる。そういう物の考え方ではなくて、その人たちを外にも出ていってもらって、外の人にも利益感があるようなあり方はないのかということ、考えていただきたい。

>委員：区民の意見はどうやって吸い上げるかということで、商店街とか人が集まる場所に意見箱を設置して、単身高齢者だとか、あるいは転勤で来た方の意見とかもくみ上げたらよいのでは。

> 委員：3 小学校の統合で、平成27年開校とされており、このときに入学される方が30 数名ということで、果たして新しく小中一貫校が必要であるのか。また外から呼ぶと言っているが、今のこの環境で、果たして外から子供さんが来るのか。余り拙速に、慌てずに、もっとじっくりと柔軟にやる必要があるのではないかと思う。

【終了15：40】